

埼玉県マスコット
コバトン



学生記者による コバトンNPOニュース

発行：埼玉県北部地域振興センター 〒360-0031 熊谷市末広3-9-1 ☎048(578)4572

協力：立正大学ボランティア活動推進センター・大和屋（株）

第92号 令和6年10月発行

特定非営利活動法人まなびクラブ・リクウェイ(深谷市)

特定非営利活動法人まなびクラブ・リクウェイ（根岸利一郎 代表理事）は、子どもから大人まで幅広い世代に対し、自然環境・科学などを学ぶ機会を提供しています。



◇設立について

様々な理由により学校に行くことが難しい児童のために、学習の場を提供し始めたことが活動の始まりだそうです。そこから、科学に興味がある児童・生徒を対象に科学を提供する場として活動の幅を拡大していき、楽しい科学体験の「まなび講座」として発展していきました。

科学の普及のために大学の教授や高校の教師、技術者などその道の第一線で活躍する方々が活動に参加されています。

◇活動について

主な活動として、「まなび講座」と「まなびハウス」があります。「まなび講座」はキララ上柴公民館にて月に一度開催しており、科学の楽しさと面白さを体験から実感できるようにすることを目標として行っています。科学の特徴的な分野や話題性のある題材を取り扱っており、平成29年に法人を設立して以降、開催回数は80回を超えています。

一方、「まなびハウス」は毎週土曜日の午後に楽しく探求する場として法人の拠点を提供しています。拠点には実験装置や知育パズル、科学やプログラミングに関する図書800冊が置かれており、参加者自身が興味のあることに自由に取り組むことができます。

そのほかにも、リスキリング講座、出前講座や科学教室など幅広い活動が行われています。

◇活動への思い

代表理事の根岸さんは、参加してくれる子どもたちに対して「自分自身の課題を見つけ、自らを律することができるようになってほしい。そのためにも、課題を見つけ、向き合う時間を作ること、興味を持って続けるためのサポートをしていきたい。」と熱い思いを感じました。

また、今後の目標について、「科学リテラシーを日常的な身近なものにできるようにしていきたい。科学リテラシーの普及センターとしての確立を目指し、ストーリーを辿るような教材の開発をしていきたい。」ともおっしゃっていました。



◇取材を通して

実際に「まなびハウス」での活動を見学させていただき、子どもたちが科学に対して真剣に向き合っている姿がありました。実際に置いてある実験器具について子どもたち一人一人が仕組みを理解して説明しており、大人でも説明することが難しい内容を自分の言葉で表現していて凄いなと思いました。

また、「まなびハウス」で過ごす子どもたちを見て、学ぶという意識ではなく、疑問に思ったことややってみようことに挑戦してみることが何事においても大切なのではないかなと思いました。

多くの方々がまなびクラブ・リクウェイさんの活動から科学について興味を持っていてほしいなと思いました。

記事(過去分すべて)はこちらからご覧いただけます。
(「くまがやねっとNPO・ボランティアコーナー」)

